



潮志い

No.108

2012(平成24年) 2月 発行

ながす議会だより

発行/熊本県長洲町議会



タイムカプセル開封 長洲小学校 成人式前回

『12歳のわたしから20歳の私へ』

12月定例会

平成23年度 一般会計補正予算ほか	2~3
土地開発公社の解散ほか	4
一般質問 町政の課題など 5名が問う	5~7
第2回 臨時会	8
国への意見書提出	9
委員会の改選	10~11
町民のひろば	12

平成23年度 補正予算 一般会計へ3132万円追加

総額65億9653万円

平成23年度第4回定例会は12月12日開会し16日まで開かれた。町長提出議案は条例の制定及び一部改正4件、開発公社の解散1件、補正予算4件、人事案3件などあり、慎重審議のうえ全議案可決された。一般質問では5人の議員が町政の考え方を問った。

平成23年度 一般会計補正予算

〔主な質疑〕

問 (磯野議員)
子ども手当システ

ム経費補助金の内容は

答 (子育て支援課長)
平成23年10月以

降支給額が変更になり支給要件のシステム改修が必要になった。

問 (磯野議員)
きんぎよ村のエア

コン室外機が盗難された。今後の対策は

答 (まちづくり課長)
設置に伴いアンカ

ーボルト・溶接等で固定、死角とならないように草刈など行う。

問 (市原議員)
放課後子どもプラ

ン推進事業費補助金の返還はなぜ今の時期か

答 (子育て支援課長)
22年度の結果が

23年度確定した、返還金の内容は清里学童が基準の10名に達しなかったため。

問 (池上議員)
きんぎよ村の利

用状況は

答 (まちづくり課長)
主に夏祭り時の

準備等に使用している。研修・会議には利用していないため、活用方法については今後検討していきたい。

問 (池上議員)
利用されていな

いのなぜ同じ場所にエアコンをつけるのか

答 (まちづくり課長)
今回は盗難に伴

う保険で対処するので設置してあった四台のエアコンを設置する。

問 (池上議員)
すぐに必要とし

ないなら保険金をプールして将来必要な時に

つかつたらどうか

答 (まちづくり課長)
保険金のプールは

できないと聞いている。

問 (川本議員)
子ども手当は10

月から法律も施行されている。9月で確定したのでは

答 (総務課長) 9月の

10月に法律が施行され追加で補正した。

問 (川本議員)
この財源は年少

控除の廃止で負担が増える世帯も出てくる。またはモデルケースを考

えているか

答 (子育て支援課長) モデルケースは作成していない。法改正後の支払いを比較してみると1280万円ほど少なくなる。

問 (川本議員)
菜切川出汐堰修

繕事業費の増額はなぜか

答 (建設農政課長)
当初は応急的修

繕を見込んでいたが、メーカーに依頼したら実費231万円の費用がかかることが判明した。

問 (川本議員)
修繕費231万の

費用の分担は

答 (建設農政課長) 堰は水利組合の所有で、修繕費は県の2分の1、町が残りの4分の1、受益者が4分の3である。

問 (川本議員)
農家の負担が大

きすぎる。修繕が生じた場合、修理出来ないようになる。町の負担も少ないのでは

答 (町長) 戸別所得補償の創設が始

まって、排水場の整備、土地改良の費用が7割減になっている。農家の負担が増えるばかりで国に要望をしていきたい。

問 (樋口議員)
ふれあいセンタ

ーの備品購入費の内容

答 (福祉保健介護課長)
世代間交流事業

として、2階の児童館を1階に移設、視聴覚備品としてビデオシアターや高齢者の介護予防体採用のモニター、タブレット型の携帯端末等を購入する。

全員賛成 可決



一般会計補正予算の主な事業

	予算額(万円)	概要
有明広域行政事務組合負担金	△198	構成各市町の基準財政需要額確定による消防費、設置町負担金の減額
熊本県知事選挙費	617	任期満了に伴う熊本県知事選挙の執行費 (任期満了日:平成24年4月15日)
国民健康保険特別会計基盤安定繰出金	362	10/20 現在での国民健康保険税(一般被保険者)、特に5割軽減世帯数の増による基準額等の増加
障がい者補助金関係償還金	326	主に利用者の減少による過年度精算分への追加
地域密着型サービス拠点等施設整備事業	1100	県の介護基盤緊急特別対策事業を活用し、高齢者が安心して地域で介護予防活動ができるように必要な介護予防拠点を整備する
広域連合療養給付費負担金	662	平成22年度の後期高齢者医療給付の事業完了に伴う負担金の確定により、過年度分として追加負担する必要がある
地域介護・福祉空間整備推進事業	308	ふれあいセンターに無線LAN環境を整備し、ipadを活用した世代間交流を図る。また、遊具などの備品を購入し、子供たちや学生、障がい者との交流も図る
子ども医療費助成事業	188	平成23年度の子ども医療費助成の実績により、増額
菜切川出汐堰修繕事業	144	流木等によってゴム堰側面底部に穴が開き、堰の機能を維持できなくなったため修繕を行う必要がある
県営腹赤地区圃場整備事業	52	近接地区の用水路布設替え及びそれを保護するためのブロックを施工する
備品購入費	294	きんぎょ村エアコン室外機4台が破壊盗難されたためエアコンの改修を行う(財源として建物災害共済保険金を充当する)

平成23年度
特別会計補正予算

国民健康保険

〈内容〉

歳入歳出予算の総額にそれぞれ362万円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ20億6442万円とする。

全員賛成 可決

公共下水道

〈内容〉

債務負担行為
長洲町浄化センター
汚泥処理業務委託料として1260万円を限度額とする。

全員賛成 可決

水道事業会計

〈内容〉

支出 梅田浄水場更新に伴う建物補償費に34万円を追加し、原配給水費を5032万円とする。

全員賛成 可決

〈問〉 (川本議員)

委託料も毎年1200万円以上かかっている。汚泥は町の焼却場では焼却できないか

〈答〉

(下水道課長)
町には汚泥の焼却施設はない。

〈問〉 (川本議員)

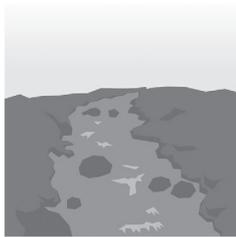
汚泥の再資源化について議論はしていないか

〈答〉

(町長)
汚泥処理に関しては国の下水道協会に相談、汚泥の資源化等について議論をしている。

〈答〉

(下水道課長) 汚泥の脱水は、3月から4月も通常通り行うため、3月では事務に支障が生じる。



土地開発公社 解散へ

●土地開発公社の解散

〔内容〕

町による一括買い上げによる事業の完了と事業の実施が見込めないため。

〔主な質疑〕

〔川本議員〕

40年間の歴史のなかで、問題点(高田区内・長洲停車場線)もあつたと思つたが

〔副町長〕

問題がなかった訳ではないと思う。

〔川本議員〕

最後の理事長として歴史を明確にし、これからの行政にどういかしていくか、談話なりを出したらどうか

〔副町長〕

最後の理事会でしておけばよかったのですが、ご指摘、心にしつかりと受け止めておきます。

※土地開発公社の理事長は副町長が務める。



全員賛成 可決

条例の改正

●暴力団排除条例の制定

〔内容〕

暴力団の排除に関し、町の責務並びに町民等の役割をあきらかにする。

〔主な質疑〕

〔磯野議員〕

この問題は地域で足並みをそろえて取り組んでいかなければならない。商工業者の出入口にポスター等を貼つたらどうか

〔総務課長〕

パンフレットやリーフレットを配布したい。

全員賛成 可決

●長洲町災害弔慰金の支給等に関する条例等の一部を改正する条例の制定

〔内容〕

国の法律改正に伴うもので平成23年3月11日以降に生じた災害に対して適応される。

全員賛成 可決

長洲町土地開発公社財産目録

(平成23年10月31日現在)

区分	金額(単位:円)	備考
1. 流動資産		定期預金 及び 普通預金
①現金及び預金	7,579,330	
②公有用地	0	
③代行用地	0	
資産合計	7,579,330	
2. 流動負債		
①未払費用	0	
②短期借入金	0	
負債合計		
3. 差引財産	7,579,330	



全員賛成 可決

●長洲町報酬及び費用弁償条例の一部改正

〔内容〕

体育指導員に関する規定が廃止され、新たに、スポーツ推進員に関する規定が設けられた。

●長洲町子ども医療費助成に関する条例の一部改正

〔内容〕

医療費の助成の「満9歳」を「満12歳」に改める。

平成24年4月1日から施行。

〔主な質疑〕

〔川本議員〕

県による助成支援は

〔子育て支援課長〕

乳幼児医療費助成補助事業交付金があり満4歳に満たないもので補助額は2分の1と

残余財産の処分について

1. 総資産(平成23年10月31日現在)	現金及び預金	7,579,330円
2. 解散及び清算諸費	現金及び預金	264,000円
	内 訳	官報掲載料: 176,300円
		法人町民税: 65,000円
		法人県民税: 22,700円
3. 差引残金財産額		7,315,300円
4. 残余財産の処分方法	長洲町土地開発公社定款第26条第2項の規定により、長洲町へ帰属	

なっている。

〔川本議員〕

群馬県では年齢の高いところまで、県自体で助成しているが

〔町長〕

群馬県は中学生までだと思ふ。県への働きかけをしていきたい。

全員賛成 可決

※土地開発公社とは:

町の依頼を受けて道路、公園、緑地その他の公共施設、または公用施設の用に供する土地を先行して取得し、管理を行う法人

町政を問う

川本 幸昭 議員	1. 住宅政策について	宮本哲太郎 議員	1. 交通安全について
磯野 博 議員	1. 本町における歯科口腔の健康づくりについて 2. 町が考える子育て支援施策は	市原 一広 議員	1. 学校教育について
浦辺 朝章 議員	1. 国民健康保険制度について		

問 今年から実施している佐賀県の施策を参考にすべき。従来のリフォーム助成に加え耐震化、太陽光設置、介護の住宅政策、トイレの水洗化の促進などを加算する施策が必要ではないか

答 (町長) この制度が地域経済が低迷するなか、打開対策として注目されている。町としても、個人住宅の長寿命化と質の向上を図り定住化の促進や業者への支援を目的としたこの制度の検討をしている。

問 全国でこの制度を実施している自治体は現在330になる。町の活性化や地元産業の振興策として波及効果も大きい、早い実現を求める

答 (町長) 複合的政策についても地元業者の所得向上、経済対策になると思うので来年度予算に向けて検討したい。

問 長洲町の新卒、若者の採用状況はどうか。洪水被害のタイ

答 (町長) 採用状況については年明け後に調査したい。タイからリクシルで働く人は全体で170名程度で雇用期間は限定されているので雇用への影響はないと聞いている。名石浜工業団地の中央理化学業が来年3月末で撤退を予定している。町としては対応していない。



川本 幸昭 議員

住宅リフォーム助成の創設を

から長洲町の企業に就労すると聞くが、若者への雇用の影響はないのか。また、町内の企業で閉鎖や撤退の動きがある、町の対応は

答 (町長) 採用状況については年明け後に調査したい。タイからリクシルで働く人は全体で170名程度で雇用期間は限定されているので雇用への影響はないと聞いている。名石浜工業団地の中央理化学業が来年3月末で撤退を予定している。町としては対応していない。



地元業者の振興で活性化を



磯野 博議員

めざせ

80歳まで20本

8020

問 国・県において、
歯科口腔保健に
関する法律、条例が施
行されている。このよう
に全国的にも歯の健康
に対する意識は高まっ
ている。平成22年12月議
会でも子育て支援の一
貫として質問させて頂
いたが重要課題の一つ
として再度伺う

答 (町長) 本町では
各年代に応じた
さまざまな歯科保健事
業に取り組んでいる。12
歳児の学校健診の結果
では、県内でもトップク
ラスの成果をあげてい
る。フッ素塗布、洗口事
業の長期的な評価とし
て受け止めている。今後
も乳幼児期の歯科保健
を初め、各年代の歯科口
腔の健康づくりに力を
入れていく。

問 県は県下にモデ
ル校の設置を検
討しているというが

答 (教育長) フッ化物
洗口のモデル校に
関しては学校等と協議し
前向きに検討していく。
《住民の住みやすい
まちへ》

問 超高齢化社会を
見据えた国家の

なかで本町が他市町と
子育て支援施策を含め
た定住化策でどう競争
していくかは今後も課
題である。町としての見



歯は生涯の宝

解を伺う

答 (町長) 財政状況
が厳しいなか、町
民の皆様からいろいろ
な意見を拝聴し、近隣
市町村、国、県の動向を
見据えながら、多様化
するニーズに対応した
特色ある安心して子育
てができる環境づくりに
取り組んでいく。

問 本町の取り組み
でいるすばらしい
子育て支援施策、定住化
策を、もつともつと町内
外の方に知ってもらいた
い。本町は良い町だとい
う事を発信する広報活
動が必要ではないか

答 (子育て支援課長)
子育て支援施策
を含めすべての課にま
たがるかと思うが、今後
検討していきたい。

国民健康保険制度 と減免対策



浦辺 朝章議員

問 医療費と国保の
現況は。また、収
納率の低下や滞納者対
策、生活困窮者に対す
る減免制度はあるか

答 (町長) 国保の医
療費は、県内でも
高い水準となっている。
反面、保険税は被保険
者の減少と低所得者の
増加により減少、医療費
に見合う財源確保がで
きない状況にある。収納
率は22年度は69%で
年々低下している。滞納
対策は、滞納処分の強
化、徴収体制の強化、収
入状況に応じた納税相
談など実施している。国
保法44条の一部負担金
の減免制度については、
平成24年4月施行予定
であり、第77条について
は、低所得者・災害によ
る被災者等への減免は
すでに行っている。

問 町民一人当たりの
国保税・医療費は
いくらか。また県内での
順位はどうか

答 (福祉保健介護課長)
一人当たりの医療
費は35万5千600円で
県下では7番目に高い。
医療費の内訳は、約8割
が入院費で県下で11位、

通院費が県下で4位と
高くなっている。
問 44条で生活困窮
者に対する減免
の基準はどうなるか

答 (福祉保健介護課長)
生活保護法の保護
基準に規定する金額で
ある。

問 今後の国保制度
をどのように考
えるか

答 (町長) 国保財政
は非常に厳しい状
況にある。一人当たりの
高医療費を抑えるため
に、健康づくりのまちづ
くりを進めていきたい。



健康で長生きが一番



宮本 哲太郎 議員

見直そう交通安全

問 自転車に関連する交通事故が全交通事故の2割を占めている。町は自転車の運転者保護対策等の考えはあるか

答 (町長) 全国の交通事故の自転車関連事故の割合は20.9%であり内訳は対自動車は84%、対二輪車が6.3%と合わせて90%以上になっている。事故から運転者などの保護を考えると車道を確認し道路外側の線を引き直し自転車の走行レーンを確認する方法が考えられる。道路両端の線から路肩まで幅員で自転車及び歩行者が通行できる町内道路は数少ない。今後自転車通行の利用度が高く自転車が走行できる幅員が確保される道路について

は徐々にではあるが改良していく。また交通事故につながる原因を考えると自転車に乗る人のマナーも重要である。交通事故防止のためにそれぞれの交通のルールの遵守と交通マナーの向上が一番の解決策だ。現在各小中学校や企業また各種団体に対して交通安全教室や講話などの交通安全啓発活動に取り組んでる。今後も道



歩行者・自転車の同時通行で安全は保てるか

路の改良とマナーの向上の両面から交通事故防止に努めていく。

問 現状での町内の歩道で自転車が通行可能な場所は何カ所あるか

答 (総務課長) 町道では長洲大谷、長洲駅海岸、長洲岱明、赤田上沖洲の各線と、県道の荒尾長洲線、国道の501号線である。幅員2メートルあれば自転車は通行可能。

問 人と自転車との事故は発生していないか

答 (総務課長) 本町では重大な事故は発生していない。



市原 一広 議員

『くまモン』に続け!

問 県のPRキャラクター「くまモン」が「ゆるキャラグランプリ」に輝いた。昨年3月に、九州新幹線の全線開業を盛り上げるキャラクターとして誕生した「くまモン」。県の営業部長として熊本の認知度向上や地域活性化に果たした役割は大きく、グッズの売上げも10億円を突破した。当町もオリジナルのキャラクターを誕生させ、地域や特産品のPR、町の活性化に役立ててほしい

答 (町長) 金鯉広場に來られた方へ憩い、安らぎを感じてもらうため、金魚の館をリニューアルしさまざまな交流や体験ができる場を予定している。館のリニューアルに合わせ、当町のイメージキャラク

ターを作成することは、明るく元気で活力のある長洲町を町内外にPRする絶好のタイミングと考え、平成24年度において、作成、活用に取り組む考えである。

問 問題が発生した場合だけでなく、問題を未然に防げるよう、教育委員会として姿勢を持っていただきたいし、また保護者の方々へのサポートにも取り組んでいただきたい

答 (教育長) 児童・生徒また保護者をサポートしていくことや、話し合いなどを学校や関係機関と連携し、進めていきたい。

問 町内の児童・生徒は「まちの宝」であり、誰一人欠けてはいけない。「心の支援サポート」事業が今年度なくなっているのはなぜか

答 (町長) 金鯉広場に來られた方へ憩い、安らぎを感じてもらうため、金魚の館をリニューアルしさまざまな交流や体験ができる場を予定している。館のリニューアルに合わせ、当町のイメージキャラク



明るく、元気な町へ!!

第2回臨時会

3年連続

職員の給与を減額!!

第2回臨時会が11月24日行われ、条例の制定1件、一般会計補正予算とその他1件が上程され慎重審議の結果、原案のとおり可決し、閉会した。

長洲町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

〈内容〉

民間企業等の情勢分析に基づく平成23年9月の人事院勧告及び平成23年10月の熊本県人事委員会勧告を受け、勧告に沿った制度運営を図るためには、この条例を制定し減額するもの。

〔主な質疑〕

問 (川本議員)

※ラスパイレス指数によると本町は玉名郡内でも低いほうではないか。自治体によって判断するべきでは

答 (町長)自治体の判断、これは考慮しな

なければならぬ。ただ本町の現状はまだまだ財政的に非常に厳しい。今回の人事院勧告は世界の経済情勢を考慮しているものと考えている。

賛成10 反対2 可決

平成23年度

一般会計

補正予算

〈内容〉

歳入・歳出それぞれ356万円を追加して歳入・歳出それぞれ65億6521万円とするもの。

問 (磯野議員)

住宅用太陽光発電システム補助金の内容は

答 (まちづくり課長)当初予算に40世帯分240万円を計上していたが、10月末で40世帯の申請があった。この予算は11月から来年3月までの、30世帯分を見込み追加補正するものだ。

問 (浦辺議員)

新山団地改修工事についての詳しい内容を求める

答 (建設農政課長)今回の追加は、B

Sアンテナ移設、雑排水管の漏水修理、アルミサッシの取り替え、一番大きいのがモルタル剝離の補強改修である。

問 (市原議員)

今回のように、後から工事代金を増額する追加工事は問題であると考えているが

答 (町長)今後このようにな問題をなくすために職員の更なるスキルアップを図り努力していく。

問 (福永議員)

環境整備協力費基金が180万円増えている。ポトピアの現状は

答 (まちづくり課長)太陽光発電システム補助金はミニポートピア長洲からの環境整備協力費を基金として積み立てている。ミニポートピア長洲から月平均で約270万円ほど入ってきている。このまま推移すれば当初

予算の計上分程度のもが入ってくると考えている。

問 (川本議員)

太陽光の補助金だが本町では上限6万円である。県下では荅北、水俣の20万円をトップに玉名郡内では玉東が10万円、南関が10万5千円だ。来年度以降の上限の拡大を望む。

答 (町長)環境の町長洲を目指すに

は太陽光の補助金も増加したいと考えている。今後財政状況を見極めながら検討していく。

全員賛成 可決

※ラスパイレス指数とは

国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数



太陽光への補助金 増額を!!



国へ意見書提出

○公共交通機関の存続へ向け、JR九州等に係る
経営支援策等の継続を求める意見書に関する請願

請願者 九州旅客鉄道労働組合

中央執行委員長 徳田 哲也氏

熊本地方本部執行委員長 坂本 和哉氏

〔請願の趣旨〕

昭和62年4月1日に国鉄が分割・民営化され自立経営を確保し、公共輸送の使命と地域を支える鉄道の再生を図るべく、JR7社が誕生した。本州のJR3社は、株式を上場して完全民営化を果している。地方ローカル線を抱えるJR3島（JR九州、JR北海道、JR四国）とJR貨物は積極的な営業施策や徹底した経営効率化など努力をした。来年4月にJR発足25年の節目となるが、自立経営を確保する目処が立っていない。こうした中、本年度末には、JR3島・貨物会社の経営支援策の重要な柱である固定資産税等減免措置の特例が期限切れとなる。JRは地域住民の足として、国民生活に欠くことのできない存在です。よってJR3島・貨物会社に、固定資産税、都市資産税を減免する特例措置の継続と鉄道事業各社に鉄道車両、軌道用車両の動力源用軽油に軽油引取税の減免措置を強く要望します。

〔本会議〕

全員賛成 可決

〔国へ意見書提出〕

「公共交通機関の存続へ向け、JR九州等に対する経営支援策等に関する意見書」を衆・参議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣あてに提出。

人事 案件

固定資産評価委員

池田 一吉氏（塩屋）

人権擁護委員

浦田 明子氏（平原）

選挙管理委員

鹿本 隆彦氏（長洲）

濱崎 周一氏（清里）

宮田 福市氏（六栄）

荒木 和明氏（腹赤）

選挙管理委員（補充員）

玉ノ木龍兒氏（長洲）

濱北 圭右氏（清里）

松川 洋氏（六栄）

吉村 脩一氏（腹赤）

～決意を新たに～ の構成決まる

総務保健福祉常任委員会



浦辺 朝章 福永 栄助
 松井 一也 ○市原 一広
 永田 則人 ○宮本哲太郎
 (○)委員長、(○)副委員長
 樋口エミ子

総務保健福祉常任委員会とは…
 【担当する所管課】

- 総務課
- 税務課
- 住民環境課
- 福祉保健介護課
- 子育て支援課
- 会計課
- 下水道課
- 水道課

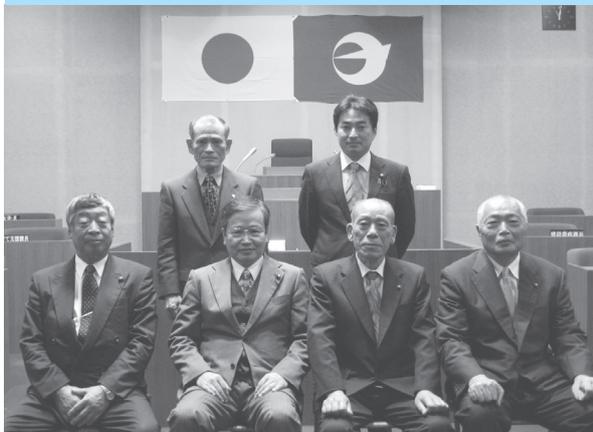
担当課に関する条例及び予算などを協議しています。

【調査事件】

- 環境問題
- 上下水道事業
- 福祉対策
- し尿汲み取り
- 保育所の統廃合・民営化
- 子育て支援
- 滞納対策
- 交通安全
- 防災対策

について、調査を実施しています。

建設経済文教常任委員会



磯野 博 徳永 範昭
 池上 満則 ○川本 幸昭
 (○)委員長、(○)副委員長
 吉田 正 浜村 芳光

建設経済文教常任委員会とは…
 【担当する所管課】

- まちづくり課
- 建設農政課
- 教育委員会事務局
- 農業委員会事務局

担当課に関する条例及び予算などを協議しています。

【調査事件】

- 有明海の環境保全
- 産業振興に伴う活性化対策
- 社会資本の整備・管理・運営
- 教育環境

について、調査を実施しています。

議会運営委員会



浦辺 朝章 浜村 芳光
 川本 幸昭 ○徳永 範昭
 (○)委員長、(○)副委員長
 ○宮本哲太郎

議会運営委員会とは…

議会運営委員会は、多数の議員で構成される議会を円滑にしかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に置かれている委員会であり、議会運営の責任者である議長の諮問的な性格を帯びた機関です。

議会運営委員会で決定、または申し合 わせを行った事柄に基づき、議員の活動の基準がつけられたり、規制することになるなど、強い調整機能を有しています。その他にも議会の会議規則や委員会に関する条例の調査なども実施しています。

委員会改選 新しい委員会

議会政治倫理審査会



◎委員長、○副委員長
 徳永 範昭 ◎川本 幸昭 宮本哲太郎
 浜村 芳光 ○樋口エミ子 浦辺 朝章

政治倫理審査会とは…
 政治倫理審査会は、平成5年に施行された、長洲町議会議員政治倫理条例第12条1項に基づき、議員の資産等の報告を審査する審査会です。
 審査会の委員は6名で構成されています。
 資産等の報告書の基準日は毎年1月1日で1年間の資産等を報告します。
 議長から審査要求があった日から90日以内に審査を終了し、議長に意見書を提出します。その後、町民の閲覧に供されます。

広報調査特別委員会



◎委員長、○副委員長
 福永 栄助 徳永 範昭
 宮本哲太郎 ○浦辺 朝章
 ◎吉田 博正 磯野 博

広報調査特別委員会とは…
 広報調査特別委員会では、日頃から町民の方々が目にふれることが少ない町の動きや議会活動を住民の皆さまにお知らせするために、本町でも議会だよりを発行しております。
 平成22年2月に記念すべき100号を発行し、ますます町民の皆さまに、簡単にわかりやすい文章でお伝えできることを目標に年4回の発行に向け、努力していきます。
 読んでいただいている方に「待ち遠しい」と感じていただけるような議会だよりの発行を目指します。

議会改革並びに 行財政改革推進調査特別委員会

委員長 浦辺 朝章
 副委員長 浜村 芳光
 委員 議長を除く全議員
 長洲町議会は財政健全化のために執行部と一体になり取り組んできました。
 住民の皆さまには、まだまだご不自由をかけておりますが、平成26年度へ向けた下水道の赤字解消もそれなり成果は上がっています。
 今回、議会改革並びに行財政改革推進調査特別委員会の長となり、議員各自の意識の改革と議会の役割と機能を十分に発揮できる環境づくりを目指したいと思っております。
 全国的に議会や議員に対する住民の目には厳しいものがあります。
 残念ながら、当町の議会も住民に対する説明義務や情報公開を十分に果たしているといえません。議員自ら開かれた議会を目指して取り組む必要があります。

長洲町議会50年史 好評発売中

ぜひ、ご家庭に1冊ご購入ください。



価格
3,000円
(税込)

町民のひろば

傍聴席から一言



松岡 大喜さん73歳 (新山区)

9月議会に引継ぎ12月定例議会を時間の許すかぎり傍聴しましたので率直な感想を述べます。9月議会は、間延びした審議に直接苦言を呈しましたが、12月議会は、一般質問・議案も比較的少なかったので一言で言って真摯に質疑応答がなされ短時間に充実した議会運営でした。財政的にも厳しい町政の中、町発展のため、町民のため熱意ある議会で特に若手議員と教育長、町長との真摯な応答は、多くの町民の皆さんにも体験して頂きたいと強く感じました。

広く議会開催を告示宣伝して来聴に努めるべきと思います。

今後共、議会の充実と町発展のため精進される事を祈念致します。

町民の声



的ばかり保存会

「的ばかり」は県外にまでその名を知られる四王子神社の新春行事で、今年は1月15日に開催され、締め込み姿の男衆が力水を浴び勇壮に的を奪い合う姿は、見る人にもパワーを与えてくれました。境内から長洲海岸までの的を奪い合いながら進み、今年は潮時もよく、潮水に浸かり、的と体を清め、最後は的を高々と掲げて終わりです。当初の的は円座でしたが、今のような形で実施されるようになったのは明治15年頃からで、当時の青年神輿会員の発起であると伝えられ、今から130年も前の事です。四王子神社は来年、鎮座850年という節目の年を迎えますが、長洲町が誇る伝統行事「的ばかり」をこれからもさらに盛り上げて参ります。

ひとこと

先の議会で委員会の構成が決定しました。今回広報委員のメンバーも変り町民の皆さまに読みやすく、わかりやすい議会だよりにしたいと委員全員が頑張つていくつもりです。

今後皆様のご意見をうかがいながら、町民の皆様に愛される議会だよりを編集していきたいと思ひます。宜しく願ひします。(吉田)

皆さん傍聴に来て下さい。

次の定例会は
3月12日(月)
開会の予定です

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年令を書くだけです



発行責任者	議長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員
松井 一也	福永 栄助	徳永 範昭	宮本哲太郎	磯野 博	浦辺 朝章	吉田 正		